

# 令和元年度 横浜市民意識調査 結果速報

横浜市では、市民の日常生活を意識と行動の両面からとらえ、市民の生活意識や生活構造を明らかにし、市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的に、昭和47年度から毎年、市民意識調査を実施しています。

今回、単純集計の結果がまとまりましたので、速報としてお知らせします。

今後、年齢別や地域別等の集計・分析を行い、令和2年3月頃に報告書を公表する予定です。

## 結果のポイント

- ① 市政について、満足度が最も高いのは12年連続で「バス・地下鉄などの便」。要望は「地震などの災害対策」が平成23年度以降9年連続で最多。
- ② 今の住まいや周辺の環境について暮らしやすいと感じている人は約8割。暮らしやすいと感じている点は「周辺の静かさ」が5割を超え最多。次いで「交通・通勤などの便利さ」、「ふだん買い物をする場所の近さ」となった。  
一方、仮に、今の住まいから転居するとしたら周辺環境で特に重視する点は、「交通・通勤などの便利さ」が最多。次いで「ふだん買い物をする場所の近さ」、「病院・医院の近さ」で「周辺の静かさ」は第4位。利便性を重視した回答が上位を占めた。
- ③ 隣近所とのつき合いについて、「互いに干渉しあわず暮らしやすい」と感じている人は75.9%、隣近所とのつき合い方について、「顔もよく知らない」は14.1%でいずれも過去の調査と比較して最多。
- ④ 地域との関わりについて、「現在あまり関わりがない」と答えた人は71.1%で、昭和63年度調査(57.0%)と比較して14.1ポイントの増。また、この約7割の人のうち、今後の地域との関わりについて、「もっと深めたい」と答えた人は昭和63年度調査の37.6%から16.0%へと20ポイント以上の減となった。

※ **特集** がついている項目は今年度調査の特集項目です。

## ■ 調査の概要 ■

調査地域： 横浜市全域  
調査対象： 市内に居住する18歳以上の方3,200人(外国人含む)  
抽出方法： 住民基本台帳から日本人は層化二段無作為抽出<sup>\*1</sup>、外国人は無作為抽出  
調査方法： 郵送留置・訪問回収法(調査票を郵送、後日調査員による個別訪問回収)  
調査時期： 令和元年5月17日～6月10日  
回収結果： 2,052票(回収率64.1%) ※ 平成30年度回収率：73.5%

\*1 層化二段無作為抽出…母集団をいくつかの層に分け(層化)、それぞれの層から二段階に分けて標本を抽出する方法

\* 過去の市民意識調査の報告書は下記ホームページからご覧いただけます。また、今回公表の単純集計データは、オープンデータとしてご利用いただけます。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/shien/shiminisiki/ishiki2019.html>

## お問合せ先

政策局政策課データ活用推進等担当課長 宮崎 郁

Tel 045-671-4087